

## 磐梯山山行報告

【山行日】2019年 9月 1(日) 晴れ

【集 合】栃本市運動公園 P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 3,700円

【メンバー】CL: 鈴木、SL大西、 安西、  
石澤、嶋田、島田、関、田村、鶴見、  
並木、福島、松舘、吉田

【コースタイム】栃本市運動公園 P5:00＝

八方台登山口 P7:20/7:40～中の湯分岐

8:10～銅沼 8:40～裏磐梯登山道分岐 9:00

～噴火口分岐 9:25～表登山道分岐 10:05

～弘法清水小屋 11:05～磐梯山頂 11:30/12:10～弘法清水小屋 12:40～中の湯跡 13:40/13:50～

八方台登山口 P14:10/14:20＝栃本市運動公園 P17:15

今日は木曽駒ヶ岳山行の予定だったが、前日昼の天気予報が雨の予報に変わり、急遽磐梯山山行に変更した。行き先変更で参加者が減ったが、栃本市運動公園を5時に出発し、東北道から磐越道を



進み磐梯河東 IC で降り八方台登山口 P に着く。駐車場にはすでに多くの車が止まっており、空いている場所に車を止める。駐車場は広く30台以上止められ、トイレや休憩舎も整備されている。

準備を整えてからトイレを済ませ、休憩舎の前でストレッチを行って出発する。駐車場から道路を渡った所に登山口があり、見事なブナの林の中を歩いて行く。幅広いブナ林の登山道を緩やかに登って行き、火山独特の地形や硫黄の臭いが

すると中ノ湯跡に出る。小さな湿地のある木道を進み、一段登ると樹林の尾根に出てすぐに裏磐梯コースへの分岐になる。分岐から2班に分かれ、B 班はこのまま直進して山頂を目指し、A 班は裏磐梯コースから火口原コースを登り山頂を目指す。

A 班は分岐から沢沿いの道をかなり下って行き、平坦な湿地の道を進むと銅沼に着く。

銅沼は磐梯山の噴火で出来た沼で、沼の畔から荒々しい爆裂口の火口壁が望め「エ～こんなすごい景色が見られるんだ」と大喜び。

沼から少し下ると裏磐梯スキー場の最上部に出て、ここからの裏磐梯高原や檜原湖の眺望が素晴らしい。景色を楽しみ記念写真を撮ったら出発する。右にV字に戻るように進み、草原を緩やかに登ると火口原への分岐に出る。



分岐を右に細い樹林帯の登山道をしばらく進み、小さなピークをいくつか越えて登って行く。



登山道の両側にシラタマが群生しており、誰かが「こんなに凄い見たことないね。食べられるといいのにね」と残念そうにつぶやいていた。樹林帯を抜けると土石流跡の中を歩くようになり、道が解りにくくなる。ペンキマークとピンクのリボンを確認しながら歩いていると、後ろからトレイルランの若者2人が来て、アッという間に追い抜いて行く。土石流跡を抜けるとはっきりした登山道になり、いよいよ急登が始まる。高度が上がると展望が良くなり、迫力ある火口壁の景色に皆さん大満足。

段々急登になり登山道の両側にU字形の鉄柵が付けられ、鉄柵に掴まりながら登って行く。登るにつれ火口壁の尖った岩峰が迫り、櫛ヶ峰との鞍部に飛び出る。ここからの景色は素晴らしく、Nさんが「以前、磐梯山に登ったけど、こんなに良い山だと思わなかった。今日は登って本当に良かったです。」と感動していた。鞍部からすぐ右の小ピークで休憩し、大展望をゆっくりと楽しんだ。登山道の南側はお花畑が広がり、オレンジ色のコウリンタンポポやタカネナデシコ、ウメバチソウ等が疲れた体を癒してくれる。ここから山頂までの道は、景色やお花を楽しみながら爽快に登れる。途中、清水が湧き出ており、道を譲ってくれたボッカのお兄さんに聞くと、「黄金清水です。」と教えてもらい冷たい清水で喉を潤した。ガレた急斜面を登ると、大勢の登山者が休む弘法清水小屋に着く。ここは弘法清水の湧水と、2軒の売店が立ち休憩に良い場所だ。呼吸を整えたら山頂に向かい、磐梯山北側の斜面を登って行く。登山道は狭く滑りやすい急斜面で、下ってくる登山者が多くすれ違いに気を遣う。しだいに頭上が開け、山頂が見えるようになると頂上に着く。B班の皆さんと無事合流して再会を喜び合い、全員で記念写真を撮る。山頂からの展望は素晴らしく、360度のさえぎる物のない眺望が得られる。眼下に光る猪苗代湖や裏磐梯の湖沼群、吾妻、安達太良、那須など、周辺の山々が見渡せる。眺望を楽しんだら山頂の西側に降り、小さな小屋の脇でランチタイムとする。お湯を沸かし、それぞれが持参したカップ麺やスープ等と、おにぎりやパンを美味しくいただいた。お腹が満たされたら下山する。下山は来た道を弘法清水まで下り、B班は近道を行きA班はお花畑経由で中ノ湯跡に向かう。途中で合流し、そこからは全員一緒に下って行く。中ノ湯跡で最後の休憩を取り、残った果物や菓子などをいただく。ブナ林の登山道に入るとチタケがあり、皆さんチタケを探しながら下



た果物や菓子などをいただく。ブナ林の登山道に入るとチタケがあり、皆さんチタケを探しながら下

り楽しそう。無事駐車場まで戻り、靴を履き替えトイレを済ませて帰路につく。途中、道の駅「ばんだい」に寄り、野菜やお土産をゲットする。  
帰りも高速道は順調に走り、予定よりも早く栃木市運動公園へ帰着した。